



学校だより No. 3

日々新たに

尼崎市立日新中学校

平成 29 年 6 月 27 日発行

自分を信じ挑戦すること

今月開催した体育大会のスローガンは、「燃やせ挑戦の心」でした。生徒たちは、このスローガンを心におき、自分が出場する種目に果敢に挑戦してくれました。この「挑戦」という言葉は、時にハードルが高そうに思えたり、また人生の中で重要なものと感じたり、人を惹き付ける魅力のある言葉だと思います。

さて、運動の話ではありませんが、昨年、東京工業大学の 大隅良典 名誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞しました。28 年間一貫して、細胞のオートファジー（自食作用）について研究を行い、その仕組みを分子レベルで解明した功績が認められたものです。このオートファジーの研究は今後、がんや糖尿病、アルツハイマー病やパーキンソン病などの難病治療に応用されることが期待されています。

大隅教授は、酵母菌の細胞の中にある「液胞」と呼ばれる器官に注目し研究を行いました。しかし当時は、この「液胞」という細胞器官に興味を示す研究者はほとんどいませんでした。私も教壇に立ち理科を教えていた頃、生徒に「液胞」を教える時、この器官は細胞内の老廃物が貯蔵される細胞のゴミ溜めで、植物の果汁はこの「液胞」の中に蓄えられているのだ、君たちは細胞のゴミ溜めに溜まった液体を美味しい美味しいと喜んで飲んでいるのだよと、皮肉まじりに教えていました。大隅教授は、この誰も見向きもしなかった「液胞」に注目したのです。

大隅教授は、この研究を始めたときに、これが必ず「がん」の研究につながるとか「寿命」の研究につながるという確信はなかったと言います。ただ、自分が興味をいだいた「液胞」の謎を知りたくて、研究室で毎日顕微鏡をのぞき込む地道な研究を続けたのです。そしてついに、顕微鏡を使い小さなたんぱく質の粒が「液胞」の中で激しく動く姿（オートファジー）を発見したのです。大隅教授のすばらしい所は、流行りを追わず、自分が興味をもったテーマを、顕微鏡を頼りに地道に自分の目で確かめていく基礎研究を大切に、それを長年続けたことです。その純朴で実直な姿勢がノーベル賞受賞に繋がったのだと思います。

ところで、私の前任校には、日本ではじめてノーベル賞を受賞した 湯川秀樹博士の記念碑がありました。博士が校区内に住んでいるときにノーベル物理学賞を受賞した「中間子論」を構想したことを記念して建立されたものです。そして、その記念碑には「未知の世界を探求する人々は 地図を持たない旅人である」と湯川博士の言葉が刻まれています。

湯川博士も大隅教授も、「これは何だろう？」「どうなっているんだろう？」という素朴な疑問を大切にされた研究者です。日新中学校の生徒たちにも、流行りを追わず、小さな発見を大切に、自分がおもしろいと思う道突き進んでほしいと思います。そして、「これが将来どんな成果を生み出すのか」と悩んだり、「成功を収めるぞ」と意気込んだりするよりも、地図はなくても自分の信じた道で粘り強くチャレンジし続ける人に育ってほしいと願います。

第 58 回 体育大会

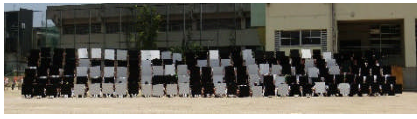
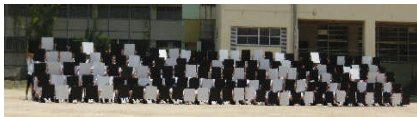
6月10日、第58回体育大会を開催しました。梅雨入りで天気が心配されましたが、当日は澄み切った青空の体育大会日和となりました。



生徒たちは、「燃やせ挑戦の心」のスローガンの下、練習の成果を存分に発揮し、出場種目に全力で取り組んでくれました。また、クラスの団結力を結集し、力強い行進や学年演技を見せてくれました。

特に3年生は、学年演技の中で人文字のマスゲームに挑戦し、白黒のパネルを使い号令に合わせて、下級生とご観覧の皆さんに向かって感動的なメッセージを作り上げてくれました。

子どもたちの頑張りと保護者、地域の皆さまの温かい声援で、素晴らしい体育大会が開催できました。ありがとうございます。



NISSHIN・56th!!・アリガトウ



体育大会成績

1年

1位：3組 112.5点
2位：2組 101点

2年

1位：2組 111.5点
2位：3組 104点

3年

1位：1組 106点
2位：3組 96.5点

ノ一部活デー



教職員定時退勤日

兵庫県教育委員会及び尼崎市教育委員会では、市内すべての学校で平日週1回以上、休日月2回以上の「ノ一部活デー」及び週1回以上の「教職員定時退勤日」の設定・実施を推進しています。

この「ノ一部活デー」の実施による休養や規則正しい生活は、科学的にもケガの防止や効率的な活動につながり、家族とのふれあいや趣味等の時間をもつことで、生徒や教職員の心身のリフレッシュを促し、教職員が生徒と向き合う時間の確保と生徒のゆとりある生活の実現を目的としています。



また、「教職員定時退勤日」の実施により、教職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現することで、すべての教職員が精神的なゆとりを持って、一人一人の生徒に向き合うことができる環境づくりを進めることを目的としています。

本校においても、学校の実状に合わせて「ノ一部活デー」及び「教職員定時退勤日」を設定・実施し、学校教育活動の一層の充実を図ってまいります。

ご不便・ご迷惑をおかけする点があるかもしれませんが、地域・保護者の皆様のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。



7月の主な予定



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 美化点検週間 ~7/6	4 色覚検査(1-1・2) (希望者)	5 色覚検査(1-3・4・5) (希望者) 補充金6	6	7 専門委員会	8	9
10 生徒朝礼 朝学なし45分	11 期末懇談 朝学なし45分 水2,火654	12 期末懇談 朝学なし45分 道,水543	13 期末懇談 朝学なし45分 木123,総	14 期末懇談 朝学なし45分 金45,木46	15	16
17 海の日	18 期末懇談 朝学なし45分 金1234 クラブ写真	19 朝学なし45分 道,金5,月2,大掃除 クラブ写真	20 終業式 集会,学活 人権作文✂切	21 夏季休業日 ~8/24	22	23
24 チャレンジサマースクール	25 チャレンジサマースクール 特別支援学級 宿泊学習	26 チャレンジサマースクール 特別支援学級 宿泊学習	27 チャレンジサマースクール	28 チャレンジサマースクール	29	30
31 チャレンジサマースクール						

< 8月の主な予定 >

8/11(金)~8/17(木)：学校閉鎖

8/25(金)：始業式